

### 環境調査結果のお知らせ

令和6年7月25日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

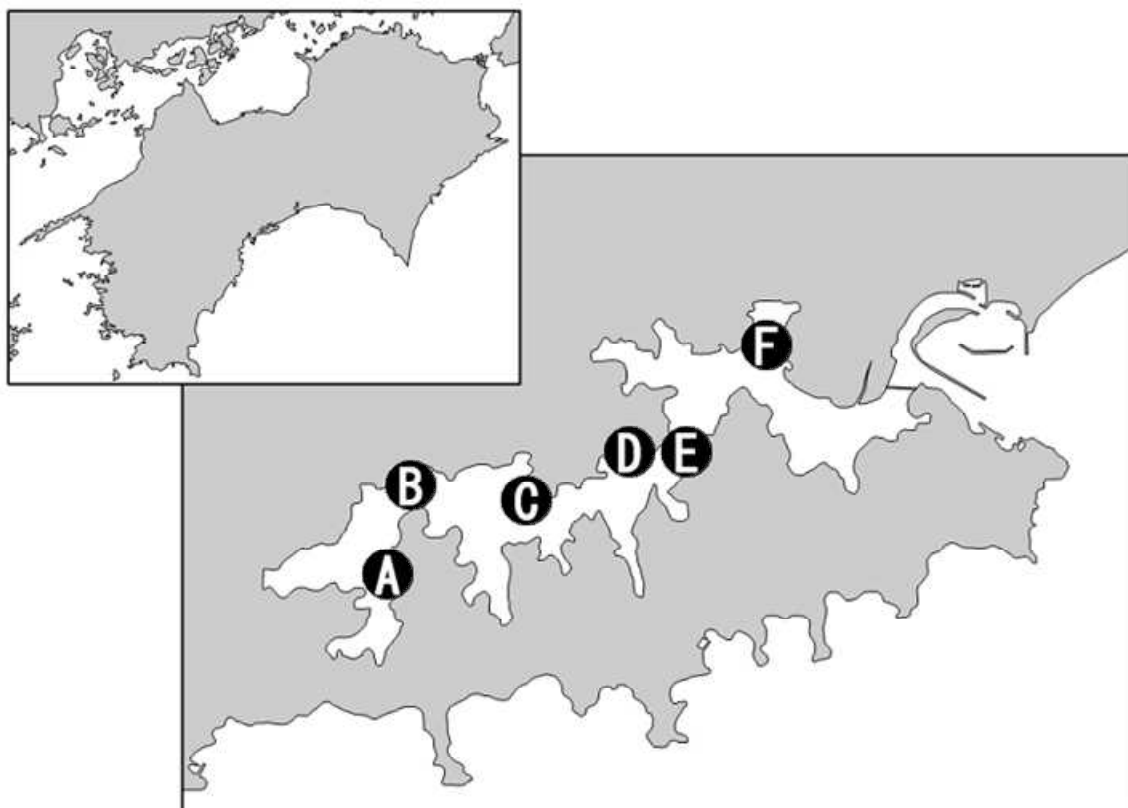
#### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で560 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が想定される密度を超えています。また、当該プランクトンは養殖漁場で再び増殖傾向にありますので、十分注意してください。

光松漁場の底層が貧酸素状態となっています。

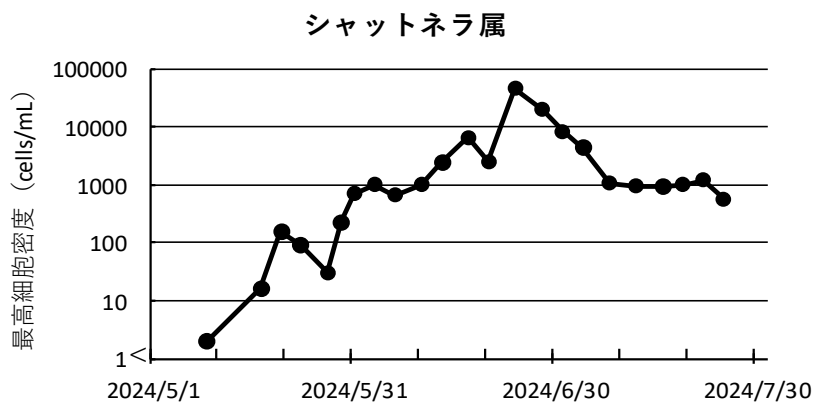
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)	属	
A 鳴無 (2.4m) 【09:33】	0	31.0	26.8	7.1	2	400
	2	28.1	29.6	4.2	25	350
	5	26.1	30.2	1.0	560	0
	9	24.8	30.0	0.1	-	-
	底層 10	24.3	23.8	0.0	240	0
B 中学校前 (3m) 【09:41】	0	31.1	26.8	7.0	2	750
	2	29.8	29.3	6.1	1	350
	5	26.5	30.3	4.4	540	100
	10	25.7	30.5	0.4	300	150
	底層 12	24.5	30.1	0.2	129	120
C 目ノクソ (3.1m) 【09:53】	0	31.0	27.0	7.2	4	600
	2	28.4	29.8	10.5	260	400
	5	27.0	30.4	6.7	260	450
	10	25.5	30.4	0.7	340	200
	底層 15	24.7	30.5	0.0	44	100
D 光松 (3.3m) 【10:03】	0	30.5	27.3	11.6	1	1,020
	2	28.7	30.0	12.1	216	1,000
	5	27.2	30.6	7.1	240	340
	10	26.5	30.7	4.1	160	160
	底層 17	26.0	31.0	1.8	29	120
E 大鹿 (3.4m) 【10:15】	0	30.9	27.6	8.0	0	650
	2	29.1	29.8	11.3	280	700
	5	27.4	30.7	7.2	99	1,000
	10	27.3	31.1	6.6	150	400
	底層 16.5	26.6	31.1	3.8	27	160
F 水試小割前 (3.5m) 【10:26】	0	30.3	28.8	9.1	0	800
	2	28.7	30.2	9.2	32	300
	5	27.6	30.9	7.9	115	800
	9	27.1	31.4	7.0	-	-
	底層 10	27.0	31.5	5.9	14	550



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿
- F: 水試小割前

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	<b>1,000 cells/mL</b>	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	<b>50,000 cells/mL</b>	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	<b>5,000 cells/mL</b>	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	<b>10,000 cells/mL</b>	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	<b>500 cells/mL</b>	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	<b>100 cells/mL</b>	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	<b>1 cell/mL</b>	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。